



「異動のたびにビクビクしている」。友人から相談を受けたことがあります。社会的で仕事のデキる人なのに何を今さら。よくよく話を聞いてみると、部署替えのたびにSNS（交流サイト）の話題が出るそうです。親しい相手ならともかく、仕事からみの人、とりわけ上司や取引先など「気を使う相手」からのフェイスブックの友達申請の対応には困るそうです。

私なら、二つの対処を考えます。一つは、理由をつけて迅速にお断りすること。「実は、最近まったくと投稿できていません。メッセージを頂戴しても気付かない可能性があるので、ツイッターでぜひつながって下さい」と感謝とお断り、同時に代替提示をします。

友達になり 設定を変えるのも手

完全に相手を拒否していないので角も立ちません。「残念ですが」「あいにくですが」とクッション言葉を入れ、文章をやわらかくする配慮をお忘れなく。

もう一つは、申請を受けて友達となった上で、「制限リスト」という機能で投稿を見せない設定をする方法です。SNSに慣れた方はこの方法を駆使し、多くの人とつながっています。

企業研修の中で、管理職の男性から「仕事とは関係ないしキリがないので、部下からの申請に気付かないふりをして無視してもいいですか」と質問されたことがあります。いくら何でも、無視はNGでしょう。どうやら悩みは部下だけではないようです。SNSは多くの人とつながることのできる便利なツールですが、失礼のないように利用したいものです。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)